

鐵百合奈

ピアノコンサート

四時代を見渡して

バロック、クラシック、ロマン、
近現代、それぞれの感情の行方

バロック時代の曲は、実は感情豊かである。「感情pathos」の定義こそ変容しているものの、豊かに盛り込まれた感情表現は、ロマン派に相通ずるものがある。

そして、クラシック(古典派)と近現代は？論理的に曲を構築しようとした点において、対極に思えるこれらの時代にも多くの共通点がある。一聴して奔放に思える曲も、確かな礎があるからこそ自由に飛翔することができる…。

今回のコンサートでは、バッハのシャコンヌ(ブラームス編曲)とシューマンのピアノソナタ第2番で「激情」と「熱情」を、モーツァルトのピアノソナタ第11番とスクリャービンの幻想ソナタで「浮遊」と「夢幻」を表現できたらと思っています。

時代を超えて、会場の皆さまと音楽を共有できたら幸せです。

Program

J. S. バッハ (ブラームス編曲) : 左手のためのシャコンヌ

J.S.Bach - Brahms : Chaconne aus der Partita für Violine solo d-moll BWV 1004 für Klavier(linke Hand allein)

W. A. モーツァルト : ピアノソナタ第11番 イ長調 K. 331 「トルコ行進曲付き」

W. A. Mozart : Klaviersonate Nr.11 A-Dur K. 331

A. スクリャービン : ピアノソナタ第2番 嬰ト短調 作品19 「幻想」

A. Scriabin : Piano Sonata Fantasy No.2 gis-moll Op.19

R. シューマン : ピアノソナタ第2番ト短調 作品22

R. Schumann : Klaviersonate Nr.2 g-moll Op.22

他

*プログラム等は、やむを得ない事情により、変更になる場合がございます。



2018年 11月10日(土)

開場17:30/開演18:00

入場料 : 会員3,500円/一般4,000円/
学生2,000円 (全席自由席)



photo by 林 喜代種

